

2023年7月3日
一般社団法人大阪銀行協会

2023年度「大銀協フォーラム」 論文企画書（助成金支給）募集のお知らせ

大阪銀行協会では、1996年より地元の金融経済の発展に資することを目的として、金融経済学者の研究活動支援を行っています。具体的には、大銀協フォーラム会員となっている大学等の若手金融経済学者を対象に、銀行・金融に関する研究論文の企画書を募集のうえ、その中から優秀な企画を表彰するとともに、研究支援として助成金を支給しています。

本年度も、同論文の企画書を募集することとしましたので、お知らせします（応募の締切は2023年10月20日<金>）。募集の対象は、大銀協フォーラム会員の方となりますが、現在は同フォーラム非会員の方についても、入会の申込（会費無料）と併せて応募していただくことが可能です。また、本件の詳細な応募資格・申込手順等につきましては、別添の要項および当協会ホームページをご覧ください。

なお、本年度の表彰者につきましては、応募者に12月8日（金）までにご連絡するほか、当協会ホームページ等でも適宜公表する予定です。

【大阪銀行協会ホームページ】

<https://www.oba.or.jp/>

【本件に関する照会先】

調査部 木田・手嶋

TEL：06-6867-9133

(別添)

2023年度大銀協フォーラム研究支援 募集要項

一般社団法人 大阪銀行協会

1. 研究支援の趣旨

大銀協フォーラムの目的の一つとして、金融経済学者の研究活動支援を掲げております(「2. 大銀協フォーラムの目的」参照)。その一環として、当フォーラムでは金融経済学者の皆様、特に若手研究者の論文作成等の研究活動の一助となることを目的として研究支援を実施しております。

2. 大銀協フォーラムの目的

次の活動を通じて、大阪の金融経済の発展に資することを目的としています。

- (1) 金融経済学者の研究活動支援
- (2) 学界と銀行界の交流
- (3) 学者間の相互交流

3. 応募資格

a. 単独研究

60才未満(2023年12月末時点)で日本の大学に所属する、教授、准教授、講師、助教、助手、院生、学部生等の方。

なお、応募時点で大銀協フォーラム非会員の方は、原則として応募とともにご入会いただきます(会費無料・退会随時受付)。

b. 共同研究

共同研究者のなかに上記a.の応募資格を満たしている方がいる場合。

(例：大銀協フォーラム会員の教授と大銀協フォーラム非会員の若手院生の共同研究など)

2022年度に単独または共同研究者として、当フォーラムの研究支援を受けられた方は選考の対象外とします(奨励賞を除く)。

なお、2021年度以前に研究支援を受けられた方はご応募いただけます。

4. 対象

- a. 対象は銀行・金融に関する研究(論文作成を含む)で、原則として、国内外未発表のものとします。
- b. 研究テーマは、金融システム、金融政策、銀行経営、金融商品開発、運用・調達、価格理論、会計、税務、法律や環境問題など、銀行・金融に関するものであれば自由とします。
- c. 選考は「今後の銀行経営、銀行実務のうえで参考になるもの」の観点で行います。
- d. 応募者の氏名は非公開で選考します。

5. 選考基準

「今後の銀行経営、銀行実務のうえで参考になるもの」の観点（上記4. c.）で、以下の基準に従い選考します。

- a. テーマの妥当性（研究の意義、研究の明確さ）
- b. 業界への貢献性（金融業界への示唆、将来の成果）
- c. 理論の立て方の妥当性

（加点項目）

- d. 地域貢献
- e. 助成金の効果的な使われ方

6. 研究支援

- a. **優秀賞** 最も優秀なレベルの企画書に対し、優秀賞を贈ります。
(ア) 件数は1件
(イ) 助成金は単独研究、共同研究ともに1件50万円
- b. **特別賞** 優秀賞に準ずるレベルの企画書がある場合、特別賞を贈ります。
(ア) 件数は3件以内
(イ) 助成金は単独研究、共同研究ともに1件につき15万円
- c. **奨励賞** 表彰に値する企画書がある場合、奨励賞を贈ることがあります。
(ア) 件数は定めない
(イ) 助成金なし（表彰のみ）

（注1）助成金の金額は、所得税及び復興特別所得税の源泉徴収前になります。

（注2）助成金は企画書に基づく論文の原稿料としてお支払いしますので、「雑所得」に該当し、金額によっては確定申告が必要となります。

7. 申込手順等

- a. 応募希望者は「大銀協フォーラム研究支援申込書」（別紙1）および「論文企画書」をEメールに添付の上、**2023年10月20日（金）**迄に提出してください。
- b. 提出された「論文企画書」に基づき、大阪銀行協会 金融調査委員会において選考します。
- c. 選考結果は、**2023年12月8日（金）**迄に応募者に連絡します。
- d. 助成金は、**2024年1月31日（水）**迄に振込します。
- e. 各賞の決定に際し、受賞者の氏名、大学名、論文企画書テーマを当協会ホームページに掲載するほか、一部マスコミに公表します。

8. 研究支援申込書および論文企画書作成上の注意

- a. 「大銀協フォーラム研究支援申込書」(別紙1)には、必要事項を漏れなく記入してください。
 - ・共同研究の場合、共著者ごとに「大銀協フォーラム研究支援申込書」を作成し、代表者が取り纏めてお申込みください。また、代表者が分かるよう「代表者の申込書」には、氏名の前に「○」印を付記してください。なお、代表者は当方との連絡窓口になっていただくほか、助成金の振込先とさせていただきますことにご留意ください。
 - ・「今回の『論文企画書』テーマ」と「最近の主な著作・論文・活動等」についてもご記入ください。
- b. 「論文企画書」には、①論文題名、②論文内容の骨子・組立て・全体構想等の要約、③論文の意義・特徴を記載してください。また、実務へのインプリケーション等があれば、ご記入ください。
 - ・応募者氏名は非公開で選考しますので、論文企画書には記載不要です。
 - ・日本語でMicrosoft Wordにより作成し、A4サイズ・3枚程度に要約してください。詳細は「大銀協フォーラム研究支援論文企画書作成要領」(別紙2)をご参照ください。

9. 論文の提出(対象は優秀賞・特別賞の受賞者のみ)

- a. 論文企画書に基づいた論文を日本語でMicrosoft Wordにより作成し、2024年11月29日(金)までに、Eメールに添付の上、大阪銀行協会調査部までご提出ください。
- b. 当然ながら著作権、著作権は著者に属します。当協会としては、研究成果を外部に積極的に公表いただくことを期待しています。但し、出版等により発表される場合は、当協会の支援を受けたことを明記してください。
ご提出いただいた論文は論文集としてそのまま編綴し、当協会において複写し、フォーラム会員および社員銀行等へ配付する予定です。また論文集は当協会のホームページに掲載し、広く周知します。

以上

(参考 1)

大銀協フォーラム研究支援実績 (2020年度～2022年度)

[所属大学名、肩書きは決定当時のもの]

- 2022年度
- 「中国におけるグリーンファイナンス政策と地域銀行の対応」
大阪産業大学 経済学部 教授 門 闖 氏
長崎県立大学 国際社会学部 准教授 小原 篤次 氏
長崎大学大学院 経済学研究科 院生 小原 隆子 氏
 - 「流動性の罅からの脱出とインフレーターゲット政策」
関西大学 経済学部 教授 中川 竜一 氏
 - 「オランダの金融機関における生物多様性の保全に向けた取り組み
—金融機関による投融資が環境に与える影響の可視化—」
愛知学院大学 商学部 准教授 橋本 理博 氏
 - 「外国人持株比率の決定要因と変動要因」
神戸大学 経済経営研究所 准教授 藤山 敬史 氏
専修大学 商学部 講師 金 鐘勲 氏
- 2021年度
- 「中国人民銀行が進めるデジタル人民元(e-CNY)の実証実験と日本に与える
影響に関する一考察」
大阪市立大学 商学部 准教授 王 東明 氏
 - 「低インフレ・低金利下における資産価格と金融政策」
桃山学院大学 経済学部 教授 井田 大輔 氏
岡山商科大学 経済学部 講師 星野 聡志 氏
 - 「信頼があいまい性選好に与える影響:経済実験を通じた検証」
早稲田大学 商学部 准教授 尾崎 祐介 氏
帝塚山大学 経済経営学部 准教授 川村 哲也 氏
 - 「気候変動社会におけるコーポレートガバナンスと企業金融
—持続可能な経済社会を実現させるイノベーション創造のために—」
甲南大学 経営学部 非常勤講師 山田 善紀 氏
 - 「新型コロナウイルス危機が金融業界に与える影響」
名古屋市立大学 経済学研究科 准教授 坂和 秀晃 氏
名古屋市立大学 経済学研究科 准教授 渡辺 直樹 氏
- 2020年度
- 「中央銀行デジタル通貨と銀行業務」
近畿大学 経済学部 教授 星河 武志 氏
 - 「相対的危険回避度は資産形成制度の整備で変化したのか
～地域金融機関のリテールビジネスへの示唆」
大阪電気通信大学 金融経済学部 特任講師 荒木 千秋 氏
 - 「わが国銀行業における相談役・顧問制度の廃止・存続アナウンスメントに
対する株式市場の反応—相談役・顧問制度の廃止は是か非か?—」
獨協大学 経済学部 経営学科 准教授 松本 守 氏

以上

(参考2)

既刊の大銀協フォーラム研究助成論文集の閲覧方法

(第26号<2022年2月発行>、第27号<2023年2月発行>)

- 当協会ホームページ内「大銀協フォーラム」ページの「研究助成論文集」から閲覧可能です。

(第25号<2021年2月発行>以前)

- 国立国会図書館や大阪府立図書館、大阪市立中之島図書館、会員所属の各大学図書館等で閲覧可能です。

以 上

応募から論文集発行までの流れ(2023年度募集分)

- STEP1** 大銀協フォーラム会員へのご入会
研究支援へのご応募には、大銀協フォーラムへご入会が必要となります。
なお、会費等は不要です。
- STEP2** 所定の研究支援申込書でご応募
大銀協フォーラム会員の皆様には、募集要項と所定の申込書をお送りいたします。
- STEP3** 選考・助成・論文執筆・論文集発行
企画書に基づき厳正に選考を行ない、受賞された先生に助成金を交付します。その後、企画書に基づく論文をご執筆いただき、大阪銀行協会調査部宛にご提出頂いた後、論文集を発行いたします。
- 発行まで** ご応募から助成・論文集発行までの流れ

- 2023年 4月
5月
6月
7月 研究支援論文企画書の受付開始
8月 第55回大銀協フォーラム (2023年8月25日 (金))
9月
10月 研究支援論文企画書の受付終了 (2023年10月20日 (金))
11月
12月 研究支援選考結果について本人宛通知
- 2024年 1月
2月 第56回大銀協フォーラム 授賞式 (受賞された先生はご出席願います)
3月
4月
5月
6月
7月
8月 第57回大銀協フォーラム
9月
10月
11月 論文ご提出期限 (2024年11月29日 (金))
12月
- 2025年 1月
2月 第58回大銀協フォーラム 論文公表・論文紹介
(完成論文を公表しますので、受賞された先生はご出席願います)